

令和 3 年度

川西町地域包括支援センター事業報告書

川西町地域包括支援センター

目 次

- 1 包括的支援事業 P 1
 - (1) 総合相談業務
 - (2) 権利擁護業務
 - (3) 包括的・継続的ケアマネジメント
 - (4) 在宅医療・介護連携推進事業
 - (5) 認知症総合支援事業
 - (6) 地域ケア会議推進事業

- 2 介護予防事業 P 7
 - (1) 一般介護予防事業

- 3 介護予防支援・介護予防支援ケアマネジメント業務 . . . P 9

1 包括的支援事業

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

(1) 総合相談業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行っています。地域包括支援センターのすべての業務の入口が総合相談となります。相談受付後、速やかに相談記録を作成し、緊急時には担当者が不在であっても対応できる体制を整えています。夜間・休日については、役場宿直を通じての緊急の相談対応ができるような体制をとっています。

令和3年度は延 1,443 件の相談に対応しました。また、夜間・休日の相談は延 40 件でした。内容としては、介護保険、予防事業、医療や認知症についての相談が多くを占めています。

相談件数・相談内容

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
相談実人数		245	180	358	575	337
内訳 (重複あり)	介護保険について	254	320	362	326	440
	予防事業について	216	164	231	160	393
	医療・保険について	49	85	53	72	113
	経済的問題	2	3	4	5	6
	高齢者虐待	39	28	30	4	3
	成年後見制度等について	13	15	4	2	30
	施設入所について	3	17	27	11	30
	ケアマネジャー支援	41	23	40	6	49
	認知症に関すること	50	120	45	40	46
	地域に関すること	2	10	8	3	15
	障害・福祉について	6	9	13	3	14
	苦情・相談に関すること	4	2	3	1	8
	ケアマネジャーの選定	0	33	42	24	22
	消費者被害	0	2	0	0	1
	住宅改修・福祉用具購入	27	53	25	60	77
その他	95	111	114	142	196	
相談延べ件数		801	995	1,001	859	1,443

①地域におけるネットワークの構築

民生委員との連携を推進するため、民生児童委員協議会後に出張相談を行っています。

(2) 権利擁護業務

地域の住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからないなどの困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活が維持できるように専門的・継続的な視点から必要な支援を行い、虐待防止などの高齢者の権利擁護に努めています。

①成年後見制度の活用促進

成年後見制度の利用が必要と思われる高齢者の親族等に対して、成年後見制度の説明や申し立てに当たっての関係機関の紹介等を行います。

令和3年度は2件の相談があり、うち1件は独居で身近な親族とのつながりが希薄な高齢者に対して、成年後見制度の利用を関係機関とすすめました。在宅生活が困難になったことから、後見人により金銭管理や住宅の引き払い手続きなどが行われました。

毎年1回コスモス成年後見センターから講師を招いて開催している成年後見制度住民講座は、コロナウイルス感染拡大防止のため講座の形を避け、相談会として開催しました。

成年後見制度住民講座

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数	1回	1回	1回	1回	1回
参加者	14人	7人	23人	3人	1組

*R2・3年度は個別相談会

②高齢者虐待への対応

虐待の事例を把握した場合には、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、速やかに当該高齢者を訪問して状況を確認するなど、町と協議し適切な対応をしています。

今年度は、養護施設等における虐待通報があったことから、長寿介護課が行うケース会議や不適切なケア改善指導・指導後のモニタリング等へ同行対応を行いました。

虐待相談件数（疑い含む）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談延件数	39	28	30	4	3
相談実件数	5	3	2	1	2
相談受理件数	2	3	2	2	2

③消費者被害の防止

訪問販売等による消費者被害を未然に防止するため、消費者センター等との連携体制を整えるとともに、住民や民生委員、関係機関等に消費者被害防止の啓発を行います。奈良県消費生活センターからの見守り通信を町内の居宅介護支援事業所へも配布し、身近な新しい情報提供を行っています。令和3年度は、自主体操グループ1団体へ消費生活相談員による講座を行いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等の連携、在宅と施設の連携等、地域において、他職種相互の協働等により連携し、個々の高齢者の状況に応じて、包括的かつ継続的に支援しています。

令和3年度は介護支援専門員の相談支援は延49件あり、指導や助言、サービス担当者会議への参加等で対応しました。なお、介護支援専門員の資質向上及び地域における連携・協働の体制づくりのために例年実施していた磯城郡ケアマネジャー合同研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2・3年度は開催されていません。

磯城郡ケアマネジャー合同研修会開催状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数	3回	3回	1回（1回コロナウイルス感染拡大防止のため中止）		
参加延人数 （再掲ケアマネジャー以外の職種）	137人 （17人）	114人 （11人）	54人 （18人）		
参加延事業所	88事業所	89事業所	36事業所		

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を促進します。

平成30年9月には、国保中央病院圏域（磯城郡3町と広陵町）で連携し、医療・介護専門職向けに在宅医療支援相談窓口が国保中央病院へ開設されました。新規相談は地域包括支援センターを通じて行うこととされています。

国保中央病院圏域在宅医療・介護連携推進事業として、広陵町・田原本町・三宅町の担当者と検討を重ねながら、令和3年度は多職種研修会をWEBで開催しました。また、東和医療圏切れ目のない入退院連携事業においては、東和医療圏市町村（天理市・山添村を除く）や保健所との協議を重ねながら、入退院調整ルールの推進状況を確認するための調査が行われています。

国保中央病院圏域在宅医療・介護連携推進事業

	令和3年度
打合せ会議	6回
多職種研修会	1回

東和医療圏切れ目のない入退院連携事業

	令和3年度
打合せ会議	7回
病院意見交換会	1回

(5) 認知症総合支援事業

認知症の早期発見や症状の悪化防止の支援、その他の認知症やその疑いのある方や家族に対する総合的な支援を行っています。認知症の人自身の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で、自分らしく暮らし続けることができる体制の構築を推進しています。

① 認知症初期集中支援チーム

認知症が疑われる人や認知症の人とその家族を、複数の専門職によるチームが訪問し、認知症の専門医による鑑別診断等を踏まえて観察・評価を実施し、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行います。最長6ヶ月で安定的な支援体制を構築・移行し、身体や生活環境等の改善を図ります。チーム員は認知症サポート医や看護師、作業療法士、精神保健福祉士、地域包括支援センター3職種などで構成され、相談窓口は地域包括支援センターに設置しています。

認知症初期集中支援チーム会議

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数	2回	4回	1回	対象者なし	対象者なし
対象者	1人	2人	1人		
チーム員 参加延人数	7人	14人	2人		
内容	<p>①適切な受療と介護者支援</p> <p>②支援終了とモニタリング</p>	<p>①適切な受療と今後の方針</p> <p>②受療が難しい時の家族支援</p> <p>③支援終了</p> <p>④被害妄想が強い方への相談支援</p>	<p>①被害妄想が強い方への相談支援</p> <p>②受療が難しい時の支援方針の立て方</p> <p>③支援終了</p>		

認知症初期集中支援チーム検討委員会は、認知症初期集中支援の評価、検討を行います。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の必要性に加えて、対象者がいなかったため開催しませんでした。

② 認知症地域支援推進員

今年度は認知症地域支援推進員研修を1名が受講。今後職員全員が順次受講予定をしています。今後は、認知症の方を見守ることのできる地域づくりを行うため、普及啓発を行っていく予定です。

③認知症カフェ（かわにしココロカフェ）

認知症の人や家族、地域住民、専門職等の誰もが自由に参加し、気軽に交流や相談ができる、地域に開かれた集いの場所として、認知症カフェ（かわにしココロカフェ）を住民ボランティア・専門職ボランティアとともに開催していましたが、令和2年度よりコロナウイルス感染拡大防止のため開催に至っていません。今後、ココロカフェについては、地域住民や事業所等が中心となり地域で開催することができるよう委託事業として検討していきます。

かわにしココロカフェ（毎月第3木曜日、川西文化会館サークル室）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数	12回	11回	8回	中止	中止
参加者延人数	195人	212人	151人	—	—
相談延件数	13件	22件	29件	—	—
カフェボランティア人数	5人	7人	10人	打合せのみ 5人	—

④認知症サポーター養成講座

認知症の基礎知識や認知症の人への対応等の講座を企画し、一般住民等を対象とした認知症サポーター養成講座を開催しています。

認知症サポーター養成講座開催状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数	4回	5回	3回	2回	1回
参加者人数 （内小学生 向け1回）	87人 (4人)	61人 (4人)	23人 (2人)	18人 (未開催)	7人 (未開催)

(6) 地域ケア会議推進事業

第1回会議では町内ケアマネジャーの地域ケア会議に対する考え方にばらつきがあったため、規範的統合を図るための意見交換の場を設けました。

ケアマネジャーの意見を反映した資料や会議内容に見直し、町内3事業所から各1事例ずつ提供してもらい、町内ケアマネジャー、生活支援コーディネーター、長寿介護課（保険者）参加による地域ケア個別会議を3回開催しました。

地域ケア会議

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
開催回数	8 回 (個別会議 6 回) (推進会議 2 回)	12 回 (個別会議 11 回) (推進会議 1 回)	8 回 (個別会議 8 回)	7 回 (個別会議 6 回)	4 回 (個別会議 3 回)
参加者 延人数	87 人	115 人	73 人	62 人	36 人
参加職種・ 機関	7	17	10	14	6
個別事例 延件数	6 件	11 件	8 件	6 件	3 件
①個別会議 事例内容	<p>①老々介護の高 齢者夫婦への支 援</p> <p>②独居。自立支援 への働きかけ</p> <p>③金銭的な問題 を抱える独居高 齢者への支援</p> <p>④施設から在宅 へ戻った方への 支援</p> <p>⑤適切なサービ スへ繋ぐ支援体 制について</p> <p>⑥認知症介護の 家族支援</p>	<p>①認知症の周辺症 状がある方の終末 期の支援</p> <p>②H28 年度事例 ⑦のモニタリング</p> <p>③長年、社会から 孤立した生活をし てきた方への適切 な受療や支援につ いて</p> <p>④糖尿病が悪化し た方への支援体制</p> <p>⑤認知症介護の負 担軽減、身体能力 の向上について</p> <p>⑥独居。外出に向 けた支援について</p> <p>⑦生活全般の自立 が困難な家庭への 支援</p> <p>⑧虚弱高齢者の栄 養改善について</p> <p>⑨事例③のモニタ リング</p> <p>⑩独居。アルコール 依存症</p> <p>⑪初回ケアプラン 作成にあたりサー ビスの検討</p>	<p>①認知症高齢者 の支援体制と権 利擁護</p> <p>②兄弟が養護者 である場合の支 援</p> <p>③認知症の進行 状況によって変 化する支援の方 向性</p> <p>④ターミナル期 の支援体制とグ リーフケア</p> <p>⑤90 代夫婦の老 老介護を支える</p> <p>⑥病識・健康管 理の意識がない 方への働きかけ</p> <p>⑦H30 事例④の モニタリング</p> <p>⑧事例③のモニ タリング</p>	<p>①認知症高齢者 の支援体制と施 設入所</p> <p>②難病の方の支 援と必要な知識</p> <p>③要介護で飲酒 の課題がある方 への支援の方向 性</p> <p>④免許証返納 後、地域での交 流や生きがいへ のアプローチ</p> <p>⑤事業所や行政 への不満が大で 感情コントロール が難しい方へ の支援</p> <p>⑥養護者不在の 認知症夫婦の支 援体制</p>	<p>①認知症で意欲 の乏しい男性へ のアプローチに ついて</p> <p>⇒利用者の真のニ ーズに対応した地 域の社会資源の把 握、情報共有の重 要性</p> <p>②独居高齢者の 看取りについて</p> <p>⇒公的サービス以 外の資源の活用、ケ アマネージャー間の情報 共有、人生の最後 への意識化の必要 性</p> <p>③徘徊リスクの 高い認知症高齢 者の支援につい て</p> <p>⇒地域の見守りや 認知症への理解を 深める取組み、本 人が社会参加でき る場の必要性</p>
②推進会議 内容	介護支援専門員 と地域・関係機関 の連携	認知症や糖尿病の 方への多職種連携 での支援体制		5 年間のふりか えりと、今後の 地域ケア会議の 展開	

2 介護予防事業

(1) 一般介護予防事業

一般介護予防事業は、年齢や心身の状況等にかかわらず、高齢者が要介護状態になっても、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指すことを目的とし、65歳以上の高齢者すべてを対象としています。

① 出前講座

介護予防の理解を深め、健康づくりの支援として地域の公民館や公共施設等で体操教室や認知症予防などの講座を行います。

出前講座

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
開催回数	3 回	4 回	3 回	0 回	0 回
参加者延人数	44 人	126 人	94 人	—	—
実施地域 (内容)	① 結崎団地(認知症予防・体操) ② 美幸(介護予防体操) ③ 下永西城(認知症予防・体操)	① 唐院(頭と手足の体操) ② 結崎団地(頭と手足の体操) ③ 井戸(いきいき百歳体操) ④ マック結崎(介護予防体操)	① 美ノ城(頭と手足の体操) ② 下永東城(頭と手足の体操) ③ 唐院(骨粗しょう症予防)	コロナウイルス感染症により中止	コロナウイルス感染症により中止

② すこやか生き活き講座(脳の健康教室) 令和 3 年度で廃止

認知症予防を目的として、簡単な読み書き・計算を習慣化し、参加者同士が教え合い、認め合うコミュニケーションを図ることで脳を活性化する教室です。令和 2・3 年度は参加希望が少なく、開催を中止しました。令和 4 年度より、認知症の早期発見・早期治療につなげるための物忘れ相談会として新たに事業を展開します。

すこやか生き活き講座実施状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
開催回数	24 回	23 回	24 回	コロナウイルス感染症により参加申し込みが少なく、開催中止	参加申し込みが少なく、開催中止
参加者延人数	260 人	242 人	230 人		
登録人数	12 人	12 人	11 人		
サポーター人数	7 人	8 人	8 人		

③ 短期集中運動教室

家で一人でもできる体操を学び、楽しく運動習慣を身につけるため、地域包括支援センターと契約した運動指導の先生が会場に赴き、5~15 人程度の少人数のグループに対して、週に 1 回(計 12 回)の体操指導を行っています。

教室終了後も自主的な体操グループとして、運動習慣が継続されるように働きかけ、これまで参加グループの9割が後述の自主体操グループ支援プログラムを利用して活動を続けています。

短期集中運動教室実施状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
参加人数	125 人	34 人	48 人	9 人	申込なし
団体数	10 団体	3 団体	3 団体	1 団体	申込なし

④自主体操グループ支援プログラム

週 1 回以上活動している自主体操グループが、今後も継続して活動を続け効果的に運動が行われるように、体操用DVD（「いきいき百歳体操」や「かみかみ百歳体操」）の指導や必要物品の貸し出し、介護予防講座の開催や制度の紹介をするとともに、グループ毎に包括職員が担当となって相談を受け、自主活動への支援を続けています。平成 30 年度から自主体操グループへ、運動指導を行う「いきいき元気教室」を実施しています。これまで厚生会・WIN へ事業を委託し実施してきましたが、厚生会の事業撤退により令和 3 年度から町内事業所の WIN へ事業委託しています。

⑤地域リハビリテーション活動支援事業

地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進しています。

自主体操グループ活動支援状況

開始年	グループ名	実施場所	いきいき元気教室	人数 (延)	地域 リハビリテーション 活動支援
H29	ひまわり会	出屋敷公民館	コト禍で活動日数少なく実施できず		無
H29	ダイヤの会	唐院公民館	1/18, 3/15. 22	43	12/20 P T
H29	元気体操の会	結崎団地 老人憩いの家	12/3. 10. 17	54	無
H29	美ノ城はつらつクラブ	美ノ城公民館	11/1. 8. 15	25	10/18 P T
H29	ささゆり会	保田公民館	12/3. 10. 17	27	
H30	のぞみ会	唐院公民館	11/29, 12/6. 13	17	12/20 P T
H30	ニコニコ会	上吐田公民館	10/4. 11, 11/1	21	無
H30	南団地の会	南団地公民館	12/1. 8. 15	22	無
H30	井戸ふれあい広場	井戸公民館	休止		休止
R1	マック結崎クラブ	マック結崎オリ エントハウス	1/12. 19. 26	23	2/7 P T
R1	さつき会	市場公民館	10/21. 28, 11/4	40	10/18 P T
R1	元気会	南吐田公民館	9/6. 13. 27	26	8/30 P T
R1	ぬくもりクラブ	ぬくもりの郷	無		無

* 地域リハビリテーション活動支援 P T…理学療法士派遣

⑥高齢者教室

65歳以上の住民を対象に、川西町教育委員会と地域包括支援センターで高齢者教室を共同開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催しませんでした。

高齢者教室

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
開催回数	1 回	1 回	1 回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
参加者数	100 人	87 人	100 人		
内容	・お口の健康ライフ ・誤嚥にナラん!体操	・栄養講座 ・転倒予防体操	・認知症とロコモティブシンドローム予防のための知識と実践		

3 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務

令和3年度介護予防支援事業所が直営になったことから、令和3年4月～5月頃にかけて、利用者全件の訪問を行い新たに契約を締結しました。

支援が必要な高齢者（要支援認定者や事業対象者）に対して、その心身の状態・本人と家族の意向等をアセスメントし、課題を整理し、ケアプランの作成、モニタリング、評価、再アセスメント等を実施します。また介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務は、居宅介護支援事業者の一部委託ができます。

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント実績件数

提供月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直営	要支援 1	8	8	8	10	10	10	10	11	12	11	11	11	120
	要支援 2	24	23	22	22	21	22	22	22	21	22	22	23	266
	事業対象者	8	8	8	9	9	9	9	8	7	7	6	7	95
	小計	40	39	38	41	40	41	41	41	40	40	39	41	481
委託	要支援 1	35	34	35	34	32	33	34	30	32	31	30	31	391
	要支援 2	51	56	56	54	50	50	48	53	56	55	53	51	633
	事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	86	90	91	88	82	83	82	83	88	86	83	82	1,024
合計		126	129	129	129	122	124	123	124	128	126	122	123	1,505

委託先居宅介護支援事業所

委託先居宅介護支援事業所名	所在地	委託先居宅介護支援事業所名	所在地
川西町社会福祉協議会	川西町	居宅介護支援事業所あかべ	広陵町
川西町地域ケアプランセンター	川西町	有限会社やまびこ	上牧町
*地域ケアプランセンター結	川西町	居宅介護支援事業所かごめ	上牧町
田原本園在宅介護支援センター	田原本町	こころ上牧居宅介護支援事業所	上牧町
介護支援事業所たんぼぼ	田原本町	*あすならホーム山の辺ケアプランセンター	天理市

介護センターいちご	田原本町	ツツミ介護支援事業所	安堵町
奈良ヘルスケアシステム	田原本町	ケアプランセンターわかくさ斑鳩館	斑鳩町
ケアプランセンターわかくさ郡山館	大和郡山市	株式会社ファミリア	天理市
居宅介護支援事業所ウェルケア悠	大和郡山市	介護老人保健施設若草園	安堵町
特別養護老人ホーム大和園平和	大和郡山市	訪問介護ステーションそらまめ星和台	河合町
ケアプランセンター夢	天理市	医療法人誠安会	香芝市
ライフサポートうさぎ	天理市		
		全 23事業所	

*・・・今年度新規委託契約事業者